

# 稲作管理特報

令和7年6月23日  
入善産米品質向上対策本部  
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの草丈、葉令、葉色はほぼ平年並みで推移していますが、茎数が多くなっています。一部で中干しが不十分なほ場も見受けられるため、今後は、田面に小さな亀裂が入る程度の中干しを数回繰り返しほ場を固め、その後は「**間断かん水**」を実施し根の活力を高めましょう。

## 【コシヒカリの生育状況 (みな穂管内)】 (展示ほ8ヶ所)

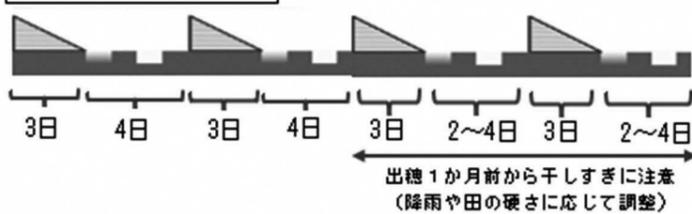
年産	田植日 (月/日)	6月10日				6月17日					
		草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色	草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色
			(本/株)	(本/m <sup>2</sup> )				(本/株)	(本/m <sup>2</sup> )		
R7	5/11	28.9	16.1	353	7.4	4.2	36.1	23.1	508	8.8	4.3
R6	5/12	31.6	13.7	283	7.1	4.3	37.4	22.2	459	8.8	4.4
平年	5/12	28.9	14.7	303	7.5	4.2	37.9	20.9	431	8.9	4.3

## 1 中干し後の水管理

○中干し後は、幼穂形成期まで「**間断かん水**」

- 根は幼穂形成期まで急速に増加します。**幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す「間断かん水」**で土壌に酸素と水を供給し、根の発達を促しましょう。
- 幼穂形成期頃までに、足跡深さが3cm程度の硬さになるようにしましょう。
- 出穂1か月前頃から基肥一発肥料の穂肥成分が溶出します。コシヒカリでは**7月に入ったら田を強く干さないように注意**しましょう。

### 間断かん水のイメージ



### 【間断かん水の方法】

乾きやすいほ場：入水→落水→2~3日落水  
 乾きにくいほ場：入水→落水→4~5日落水

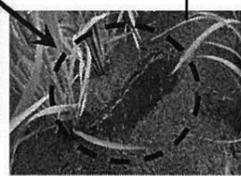
湛水と落水を繰り返し、根に新鮮な水と空気を交互に供給

○幼穂形成期～出穂期始めまでは「**飽水管理**」

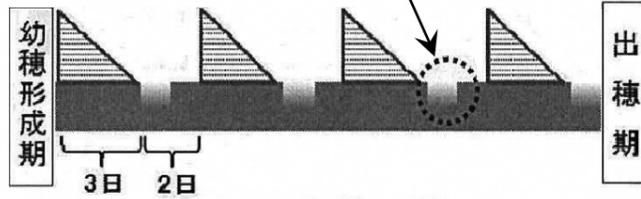
- 常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力と葉色の急激な低下を防止しましょう。

### 飽水管理のイメージ

**飽水管理の方法**  
 3cm程度入水後→落水→足跡の水がなくなる前に入水(出穂始め頃まで 繰り返す)



この状態になったら入水



中干し後は、**間断かん水**を実施し、**稲体の健全化を図りましょう!**

- 大雨の後は排砂が実施される可能性があります。**連携排砂情報を確認し、水管理に注意**しましょう。



黒部河川事務所 HP



## 2 草刈りの徹底

**斑点米カメムシ類**の発生は平年より早く、発生頭数も極めて多い状況です。**斑点米カメムシ類を増殖させないよう雑草地や畦畔の草刈りを徹底**しましょう。

カメムシはすでに雑草地に生息しています!



アサジカスミカメ



アヒゲホドノカスミカメ



トゲラボカメムシ

### ☆大麦跡田や転作田のほ場管理

- 大麦跡田などはカメムシ類の繁殖好適地となるため、雑草が繁茂しないよう管理するとともに、大豆や園芸作物、緑肥等を積極的に栽培しましょう。

### ～草刈り作業時の留意点～

例年、草刈り作業時における農作業事故が多発しています。草刈り作業を行う際は、周囲の安全を確認し、怪我や転倒等に注意しましょう。

### 令和7年度水田畦畔等草刈り運動期間

一斉草刈り日

運動期間 6/27(金)～7/6(日)

一斉草刈り日 6/28(土)～29(日)

## 3 熱中症対策

これから本格的に気温が上がり、熱中症になる人が増えてきます。正しい知識を身につけ、適切に予防しましょう。

- 暑さを避ける 高温時の作業はできるだけ避けましょう。
- 休憩と水分補給 のどの渇きを感じる前に水分・塩分を補給しましょう。
- 単独作業は避ける 複数名で作業し、時間を決めて連絡を取り合しましょう。
- 予防アイテムの活用 空調服やミストファンなどを活用しましょう。



ミストファン

※熱中症が疑われる場合は、すぐに作業を中断し、速やかに病院で手当を受けてください。

☆令和7年6月1日から労働者への熱中症対策が義務化されました。労働者を雇用する事業者は、「**早期発見のための体制整備**」「**重篤化を防止するための措置の実施手順の作成**」を行い、その内容を関係作業者に周知するよう義務付けられます。



農林水産省 HP

★JA みな穂では営農情報を配信しています。  
 ・営農メール: 水稻栽培情報、気象・災害情報  
 ・LINE: 稲作管理特報などの各種特報  
 ※右のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

営農メール



LINE



JA みな穂営農センター TEL 74-2440 中央支店経済課 TEL 72-5379 西部支店経済課 TEL 72-1162  
 南部支店経済課 TEL 78-1167 新川農林振興センター 農業普及課 TEL 52-0094